

第 24 回全国青年対策交流集会

関東地方東京支部 吉岡 泰佑

はじめに、全国青年対策交流集会に参加された皆様、お疲れ様でした。

全国青年対策交流集会に参加し、松永中央書記長の学習講義のなかで「労働組合の強さとは」が印象に残った。その中でヨーロッパ諸国の労働協約適用率が高いのは労働者の権益を保護するため拡張適用が活用されている。労働協約の適用範囲を拡大するにはいくつかの要因はあるが、年々減少傾向にある労働組合の組織率向上し、協議に参加しやすい環境作りをしていく必要があるのではないかと思う。畠山中央副委員長の学習講義では「労働基準法」について、「働くうえで労働条件の基準を定めた法律で労働者の権利を守ること」は自分たちの生活に直結してくる事を学ぶことができ勉強になりました。

今回、関西地本の皆さんがまとめてくれた動画・現地視察をして「大阪 IR」について学習し、どの様なことが問題になっているのか知ることができた。投資額の増加・治安の悪化や社会的影響、周辺交通渋滞で物流の遅延が発生し私たちの生活も支障をきたすなどの悪循環になってしまう。

青年部としての活動を通して全国の色々な仲間に出会い対話し、職場やその地域での問題があることが多く、その解決に向けて発信して行動していかなければならない。